

別科・日本語研修課程科目概要

各科目の末尾の数字がレベル（学習段階）をあらわしています。
日本語科目一覧表と合わせて参照してください。
（学習段階 1～4：初級、5・6：中級、7・8：上級前期、9：上級後期）
学期によって一部の科目が休講になる場合があります。

科目名	学習目標・学習内容
文法3	初級後半の文法運用能力を身に付ける。
文法4	
文法5A	中級の文法運用能力を身に付ける。日本語能力試験N3に対応する。
文法5B	
文法6A	中級の文法運用能力を身に付ける。日本語能力試験N2に対応する。
文法6B	
文法8A	上級の文法運用能力を身に付ける。日本語能力試験N1に対応する。
文法8B	
文法9(古典)	古典の読解に必要な知識を身につけ、明治期の文語文を中心に講読を行う。
表記法2	初級の漢字の運用能力を身に付ける。漢字の基礎知識を習得し、各学習段階に応じた読み書きができるようにする。
表記法3	
表記法4	
表記法5	中級の漢字の運用能力を身に付ける。初級漢字500字程度を学習した者が、中級漢字100字とそれを用いた語彙を習得する。
表記法6	中級の漢字の運用能力を身に付ける。初級・中級漢字600字程度を学習した者が、漢字約150字とそれを用いた語彙を習得する。
文章講読3	初級レベルの平易な文章の読解能力を身に付ける。文型・語彙・漢字を理解し、一まとまりの内容が読み取れるようにする。
文章講読4	
文章講読5	中級レベルの文章の読解能力を身に付ける。語句や文法事項の理解に基づいた内容把握と、内容に対する意見の表明ができるようにする。
文章講読6	
文章講読8	一般的な文章の読解能力を身に付ける。平易なエッセイや論説文を読み、語句や文法事項の理解に基づいた内容把握と、内容に関する議論ができるようにする。
文章講読9A-1	専門性の高い文章の読解能力を身につける。さまざまなテーマの論説文を扱い、日本の歴史、文化等への理解も深める。9Aと9Cにレベルの差はない。 ※2科目同時履修
文章講読9A-2	
文章講読9C-1	
文章講読9C-2	
新聞講読5	短く平易な新聞記事の読解能力を身に付ける。語句や文法事項の理解に基づいた内容把握と、内容に対する意見の表明ができるようにする。教材を通して日本社会に関する理解も深める。
新聞講読6	
新聞講読8	一般的な新聞記事の読解能力を身に付ける。語句や文法事項の理解に基づいた内容把握と、内容に関する議論ができるようにする。教材を通して日本社会に関する理解も深める。
新聞講読9	専門知識を必要とする新聞記事の読解能力を身に付ける。様々な分野の記事や論説を読み、内容把握と、内容に関する議論ができるようにする。記事を通して日本社会に関する理解も深める。

科目名	学習目標・学習内容
作文2	初級レベルの文章表現能力を身に付ける。初級の文型・語彙・漢字を用いて、平易な内容を文章で表せるようにする。
作文3	
作文4	
作文5A	
作文5B	中級レベルの文章表現能力を身に付ける。あるテーマについて文章で説明したり意見を述べたりできるようにする。担当教員が個別添削指導を行う。
作文6A	
作文6B	
作文7	上級レベルの文章表現能力を身に付ける。あるテーマについて適切な表現とわかりやすい構成で文章が書けるようにする。担当教員が個別添削指導を行う。
作文8	
作文9	上級レベルの高度な文章表現能力を身に付ける。レポート・論文等の執筆に必要な表現技術を習得する。担当教員が個別添削指導を行う。
音声言語理解5	平易な発話を聞き取り、必要な情報が得られるようにする。
音声言語理解6	
音声言語理解7	上級レベルの聴解能力を身に付ける。ニュースやドラマを視聴し、内容把握・発展的運用練習を行いながら、日本の社会や文化に関する理解も深める。
音声言語理解8	
音声言語理解9A-1	上級レベルの聴解能力を身に付ける。テレビのドキュメンタリー番組を視聴し、内容把握、議論等を行いながら、日本の社会や文化に関する理解も深める。9Bが最も高いレベル。 ※2科目同時履修
音声言語理解9A-2	
音声言語理解9B-1	
音声言語理解9B-2	
会話2	初級レベルの口頭表現能力を身に付ける。短い会話やスピーチの練習を行う。
会話3B	
会話4A	
会話4B	
会話5A	中級レベルの口頭表現能力を身に付ける。会話の場面や目的に合わせて適切な表現ができるようにする。5D（発音）では、日本語の発音・アクセントに関する基本的な知識を学び、正しく発話できるように練習を行う。
会話5B	
会話5C	
会話5D（発音）	
会話6A	
会話6B	
会話6C	上級レベルの口頭表現能力を身に付ける。会話の目的、場面、相手との関係に応じて適切な表現ができるようにする。
会話7A	
会話7B	
会話8A	
会話8B	
会話8C	上級レベルの高度な口頭表現能力を身に付ける。会話の目的、場面、相手との関係に応じて適切な表現ができるようにし、自然な流れを構成しながら話せるようにする。また、会話特有の様々な表現方法を学ぶ。
会話9A	
会話9B	

科目名	学習目標・学習内容
応用会話2-1	口頭表現を中心にした諸活動を通して、話すことによるコミュニケーション能力を身に付ける。 ※2科目同時履修
応用会話2-2	
応用会話4A-1	
応用会話4A-2	
応用会話4B-1	
応用会話4B-2	
発表5	中級レベルの口頭発表能力を身に付ける。発表の技術を学び、実際に様々なテーマで発表・意見交換を行う。
発表6	
発表8	上級レベルの口頭発表能力を身に付ける。発表および議論の技術を学び、実際に様々なテーマで発表・議論を行う。
発表9	上級レベルの高度な口頭発表能力を身に付ける。専門的な内容に関する発表、議論、司会進行の技術を学び、実際に様々なテーマで発表・議論を行う。
総合日本語2（文法1）	日本語の基本的な文法運用能力を身に付け、日常の簡単なコミュニケーションができるようにする。 ※5科目同時履修
総合日本語2（文法2）	
総合日本語2（漢字）	
総合日本語2（文章表現）	
総合日本語2（口頭表現）	
総合日本語4A（文法1）	
総合日本語4A（文法2）	
総合日本語4A（漢字）	
総合日本語4A（文章表現）	
総合日本語4A（口頭表現）	
総合日本語4B（文法1）	
総合日本語4B（文法2）	
総合日本語4B（漢字）	
総合日本語4B（文章表現）	
総合日本語4B（口頭表現）	
総合日本語5A-1	初級修了程度の学生を対象とする。中級前半レベルの日本語を総合的に学習する。 ※3科目同時履修
総合日本語5A-2	
総合日本語5A-3	
総合日本語5B-1	
総合日本語5B-2	
総合日本語5B-3	
総合日本語6-1	中級の学習経験がある学生を対象とする。中級後半の日本語を総合的に学習し、上級に進む準備をする。 ※3科目同時履修
総合日本語6-2	
総合日本語6-3	
総合日本語8-1	上級の学習経験がある学生を対象とする。上級レベルの日本語を総合的に学習する。 ※3科目同時履修
総合日本語8-2	
総合日本語8-3	

科目名	学習目標・学習内容
日本事情7A (文化学)	日本文化について言語の面から考える。古典文学の鑑賞を交えて、日本語の文体差・地域差等日本語のバリエーションとそれぞれの歴史的变化について概説する。
日本事情7B (能楽)	日本の芸能である能楽について講義を行う。その政治社会とのかかわり、舞台芸術・身体表現上の特性を映像資料を用いて概観する。
日本事情7C (自主研究)	学生が自分で研究テーマを決め、自主的に調査をし、日本語でレポートを書く。学期末に8000字のレポートを提出する。この科目の履修を希望する者は、別に配布する申請書を事前に提出しなければならない。
日本文化7A (伝統文化)	この科目は日本人の心情、行動、美意識、価値観の底に流れる、伝統文化のエッセンスの一端に、留学生がじかに触れ、感得することを目標に、茶道、和楽器の体験的な学習をするオムニバス科目である。
日本文化7B (日本画)	日本の伝統的な絵画に触れ、その基礎知識を得ることを目標とする。授業では、実際に日本画を描く実習を行う。
日本文化7C (アニメ・テレビゲーム)	日本の現代文化としてのアニメ・テレビゲームについて、実際の製作者の立場から、その歴史や製作現場の現状などを紹介する。

日本語科目一覧

【三田キャンパス開講科目】

学習段階	総合科目	技能別科目							
1	総合日本語2								応用会話2
2			表記法2			作文2		会話2	
3	総合日本語 4A/4B	文法3	表記法3	文章講読3		作文3		会話3B	応用会話4A/4B
4		文法4	表記法4	文章講読4		作文4		会話4A/4B	
5	総合日本語 5A/5B	文法5A/5B	表記法5	文章講読5	新聞講読5	作文5A/5B	音声言語理解5	会話5A/5B/5C/5D	発表5
6	総合日本語6	文法6A/6B	表記法6	文章講読6	新聞講読6	作文6A/6B	音声言語理解6	会話6A/6B/6C	発表6
7	総合日本語8	文法8A/8B		文章講読8	新聞講読8	作文7	音声言語理解7	会話7A/7B	発表8
8					作文8	音声言語理解8	会話8A/8B/8C		
9		文法9(古典)		文章講読 9A/9C	新聞講読9	作文9	音声言語理解9A/9B	会話9A/9B	発表9

「文章講読9」「音声言語理解9」「応用会話」:2科目同時履修 「総合日本語」:2～4Bは5科目同時履修、5A～8は3科目同時履修

【三田キャンパス開講科目】

日本文化科目
日本事情7A(文化学)
日本事情7B(能楽)
日本事情7C(自主研究)
日本文化7A(伝統文化)
日本文化7B(日本画)
日本文化7C(アニメ・テレビゲーム)